

**スマートデバイスを利用した製薬企業向け営業支援システム
「PVLink Camera Report」の新バージョンを販売開始
～医薬品の副作用・症例報告機能に加え、医療機器の不具合報告機能を追加～**

キヤノンマーケティングジャパングループのキヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：金澤明、以下 キヤノン ITS）は、スマートデバイスを利用した製薬企業向け営業支援システム「PVLink Camera Report（ピーブイリンクカメラレポート）」の新バージョンを2019年10月9日より販売開始します。

「PVLink Camera Report」は、製薬企業のMR（医薬情報担当者）が、医療機関から収集した医薬品の副作用・症例情報の紙ベースの調査票をスマートデバイスのカメラで撮影して電子化し、自社の安全管理部門に迅速かつセキュアに報告するシステムです。

新バージョンでは従来の医薬品の副作用・症例報告に加え、医療機器の不具合報告にも対応するとともに安全管理部門がとりまとめをしている安全性情報進捗管理システムへの自動登録機能を搭載し、多忙なMRと安全管理部門の業務負荷を軽減します。

「PVLink Camera Report」概要図

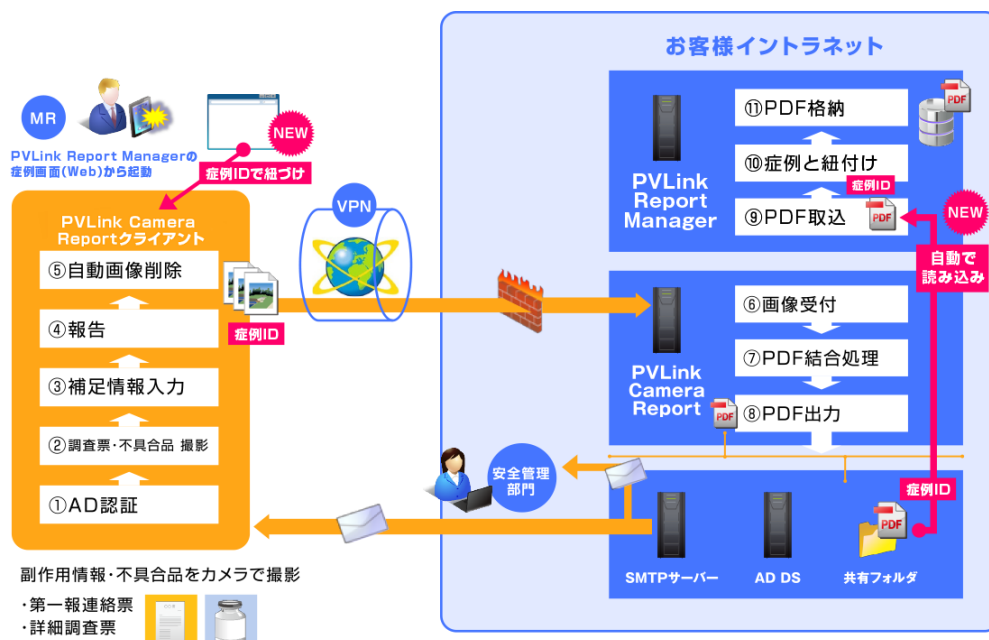


医薬品の副作用・感染症の情報および医療機器の不具合等の情報は、安全確保を図るため厚生労働省所管のPMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）への迅速な報告が必要です。新バージョンではこれまでの紙帳票の電子化機能に加え新たに汎用撮影モードを搭載し、医療機器（例 CT装置や心電計、注射器など）の不具合報告業務に対応しました。これにより従来のFAXやE-Mailを使用した報告による宛先間違いや、誤ったデータを配信してしまうなどの人為ミスを防止し、都度手作業で送信する必要があるという運用上の課題を解決することができます。また、撮影対象や撮影環境に応じて画像品質を調整できる機能を追加し、医療機器の破損や不具合状況の視認性も向上しました。

その他、「PVLink Camera Report」とキヤノン ITS が提供する安全性情報進捗管理システム「PVLink Report Manager (*1)」との連携機能を強化することで、MRが調査した副作用・感染症の詳細調査結果を当該症例に紐づけて自動登録、進捗管理することができるようになります。

た。「PVLink Camera Report」からの報告PDFを「PVLink Report Manager」が症例IDをもとに自動で読み込んで一元管理するため、安全管理部門が手動で登録する必要がなくなります。報告遅延や報告漏れを防ぐことも可能になり、PMDAへの副作用報告を円滑に行うことができます。

「PVLink Report Manager」との連携図



キヤノン ITS は、EDI システム「EDI-Master DEX for Medical」(*2) を製薬企業向けソリューションとして提供しており、これまで PMDA (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構) に対する副作用報告の情報配信の仕組みとして、大手製薬企業 80 社以上の導入実績があります。今後もキヤノン ITS は副作用報告についてトータルなソリューションを展開し、2022 年までに「PVLink Camera Report」の 2018 年度売上額に対し 35%増を目指します。

*1 キヤノン ITS が提供する MR が医療機関から収集した情報 (副作用報告等) を Web で報告し、安全管理部門が進捗管理するシステム。安全性情報の進捗管理業務の基本機能 (報告・収集・進捗管理・調査・ICSR 連携) をパッケージ化しており、画面構成・入力項目・デザインなどは、要望に合わせて設定することが可能です。

*2 キヤノン ITS が提供する個別症例安全性報告を電子的に伝送する製薬企業に特化した EDI システム。

<価格>

製品名	価格 (税別)	発売日
PVLink Camera Report Ver. 1.1 ベースライセンス	300 万円	2019 年 10 月 9 日
PVLink Camera Report Ver. 1.1 MR ライセンス (MR100 名)	50 万円	

*ベースライセンスには、100 名分の MR ライセンスが含まれます。

*100 名以上でご利用の場合は、PVLink Camera Report MR ライセンスの追加が必要です。

● 報道関係者のお問い合わせ先 : 企画本部 事業推進部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603

● 一般の方のお問い合わせ先 : プロダクトソリューション営業本部 EDI ソリューション営業部 03-6701-3575

● PVLink Camera Report ホームページ : https://www.canon-its.co.jp/products/pvlink_cr/

● ニュースリリースホームページ : canon.jp/newsrelease

「PVLink Camera Report Ver.1.1」の特長

■汎用撮影モードによる医療機器不具合報告業務への対応

帳票撮影モードに加え汎用撮影モードを追加したことにより、従来の医薬品副作用報告業務や、医療機器の不具合報告業務にも対応が可能になりました。また、撮影対象や撮影環境により、画像品質を変更するなどの機能を追加し、撮影対象の視認性を向上しました。

■安全性情報進捗管理システム「PVLink Report Manager」との連携強化

キヤノン ITS が提供する安全性情報進捗管理システム「PVLink Report Manager」との連携強化により、MR が調査した副作用・感染症の詳細調査結果を当該症例に紐づけて自動で登録、進捗管理が可能になりました。

<キヤノン ITS における製薬業向けソリューション>

製薬企業における医薬品の安全管理業務は、迅速さ・正確さ・安全性が求められる非常に重要な業務のひとつと言えます。

キヤノン ITS は、厚生労働省への安全性報告を電子伝送するための EDI ソリューションや安全管理部門と MR 間で行われる報告業務をスムーズに行うための副作用報告支援システムなどを提供し、この安全管理業務運用をサポートしています。また、各種システムの構築支援サービスはもちろん、ライフサイエンス業界におけるシステム導入で必要不可欠な「コンピュータ化システムバリデーション (CSV)」のお手伝いも合わせて提案することが可能です。

今後も、豊富な実績とノウハウを生かして製薬企業のさまざまな課題解決に関するソリューションを今後も展開していきます。

<キヤノン ITS の EDI ソリューション>

専用線、VAN 型 EDI からインターネット EDI まで、様々な企業間電子商取引(EC/EDI)実現に向け最適な製品&ソリューションを提供します。EDI のシステムを成功させるには、企業同士の業務を効率化するための業務分析や、各社がこれまで蓄積してきたデータを共通の形式に変換する技術が重要になります。キヤノン ITS では、パッケージ製品の導入のみならず、EDI システムの設計・構築・運用にいたるまで、トータルなサポートが可能です。

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社 > 資料ダウンロード > お問い合わせ
EDI SPECIAL SITE
2024年のISDN終了までに
インターネットEDIの移行
を確実に軌道に乗せる
EDIシステムの設計・構築から導入・運用支援まで、
EDI提案30年以上のエキスパートにお任せください。
EDIソリューションの紹介、
お客様導入事例などを
> 無料でダウンロードする

* EDI スペシャルサイト「2024年のISDN終了までにインターネットEDIの移行を確実に軌道に乗せる」掲載中

https://www.canon-its.co.jp/files/user/products/edi_master/lp/